

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25220003	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	多様なソフトウェア資産の収集・分析・評価と効果的な利活用の研究	研究代表者 (所属・職) (平成28年3月現在)	井上 克郎 (大阪大学・大学院情報科学研究科・教授)

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、ソフトウェアの積極的な再利用の基盤となる利活用支援フレームワークの基本技術を開発し、実用化することを目標としている。この目標へ向けて、個別の研究成果を IEEE の学術雑誌、ICSE などの著名な国際会議の場において発表するなど、着実に成果を上げつつある。</p> <p>今後は、これらの個別の研究成果をまとめ、フレームワーク全体の支援システムに関する議論を深めつつ、その成果を学術雑誌や国際会議で発表するとともに、実用化へ向けた更なる進展と成果を期待する。</p>	